

# RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND

| PRIMARY SCHOOL |  
| MIDDLE SCHOOL |  
| HIGH SCHOOL |

STUDY IN THE UK:  
OPEN DOORS TO THE WORLD



## ACCESS

- FOR TRAIN London Waterloo駅よりPortsmouth方面行き急行列車で約35分  
Guildford駅で下車。タクシーで約20分
- FOR CAR Londonから車で約1時間20分。国道A3でGuildfordに至り、  
さらに国道A281をHorsham方面へ20分ほど走ると、右手に学校正門が見えてきます

[イギリス] RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND  
Guildford Road, Rudgewick, West Sussex RH12 3BE U.K. [Tel] +44-(0)1403-822107 [E-mail] eikoku@rikkyo.co.uk

[日本] 立教英国学院東京事務所  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教学院内 [Tel] (03) 3985-2785 [E-mail] tokyo@rikkyo.co.uk

<https://www.rikkyo.co.uk>

OFFICIAL WEB SITE  
学校情報やカリキュラム、  
入学前に知りたいQ&Aはこちら



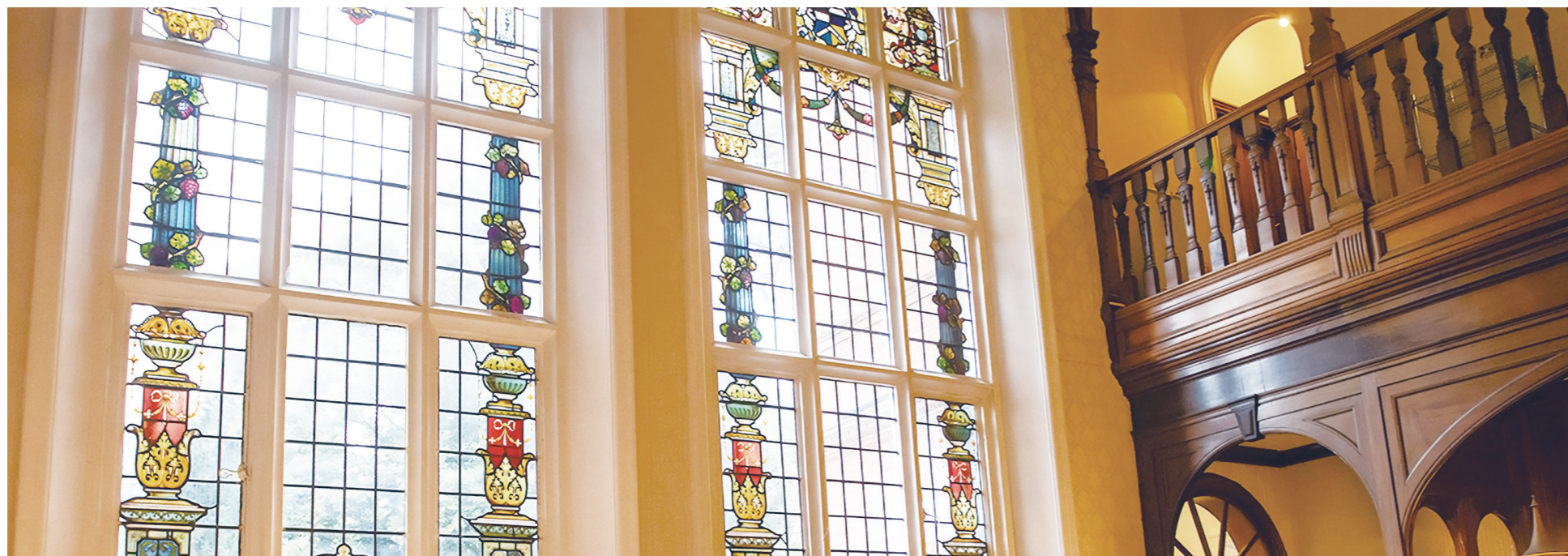
公式 SNS  
四季の移り変わりをテーマに、  
立教英国学院の学校生活を発信



SCHOOL GUIDEBOOK  
2025 — 2026



# 英国で学び、 世界へ羽ばたく。



立教英国学院は、英国にあるボーディングスクール。  
 緑豊かな丘の上に位置する全寮制のキャンパスでは、  
 小学部5年生から高等部3年生までの生徒たちが、  
 教職員と生活を共にしながら、学び合い、高め合う日々を重ねています。  
 同じ寮の中で一つの大きな家族として暮らすことは、  
 子どもたちの個性や他者への思いやり、リーダーシップを芽生えさせ、  
 一人の人間としての成長を後押しします。  
 卒業後は、英国をはじめとする海外の大学で学び続ける人、  
 帰国して立教大学などの日本の大学へ進学する人などさまざま。  
 これからのグローバル社会を生きていくために生まれた力は、  
 一人ひとりが世界へと羽ばたく力となり、  
 その未来の可能性を大きく広げます。

## | Philosophy |

品格ある国際人を育む学び  
 — 世界に羽ばたく未来をここから。

## INDEX

### FOCUS! RIKKYO UK

- 03 - 立教英国学院の教育理念
- 05 - 卒業生・先生インタビュー

### 立教英国学院の3つの柱

- 07 - 日英融合教育
- 09 - キリスト教教育
- 10 - 寮生活

- 11 - カリキュラム

### SCHOOL LIFE

- 13 - 学校行事
- 15 - キャンパス紹介
- 17 - 生徒の1日
- 19 - 進路について

### 保護者の皆様へ

- 21 - 入試日程・学費・学校見学・説明会について
- 22 - 理事長・校長ごあいさつ／沿革

FOCUS!  
RIKKYO UK #01

# Learning in the UK

## 英国での学びから 真の国際人へ

急速に変化するデジタル社会の現代。オンラインで一瞬にして世界中とつながることができ必要な情報はすぐに手に入れることができます。より便利に、効率化される一方で、将来どのような課題に直面し、どのような世界で生きていくかを予測することは不可能です。

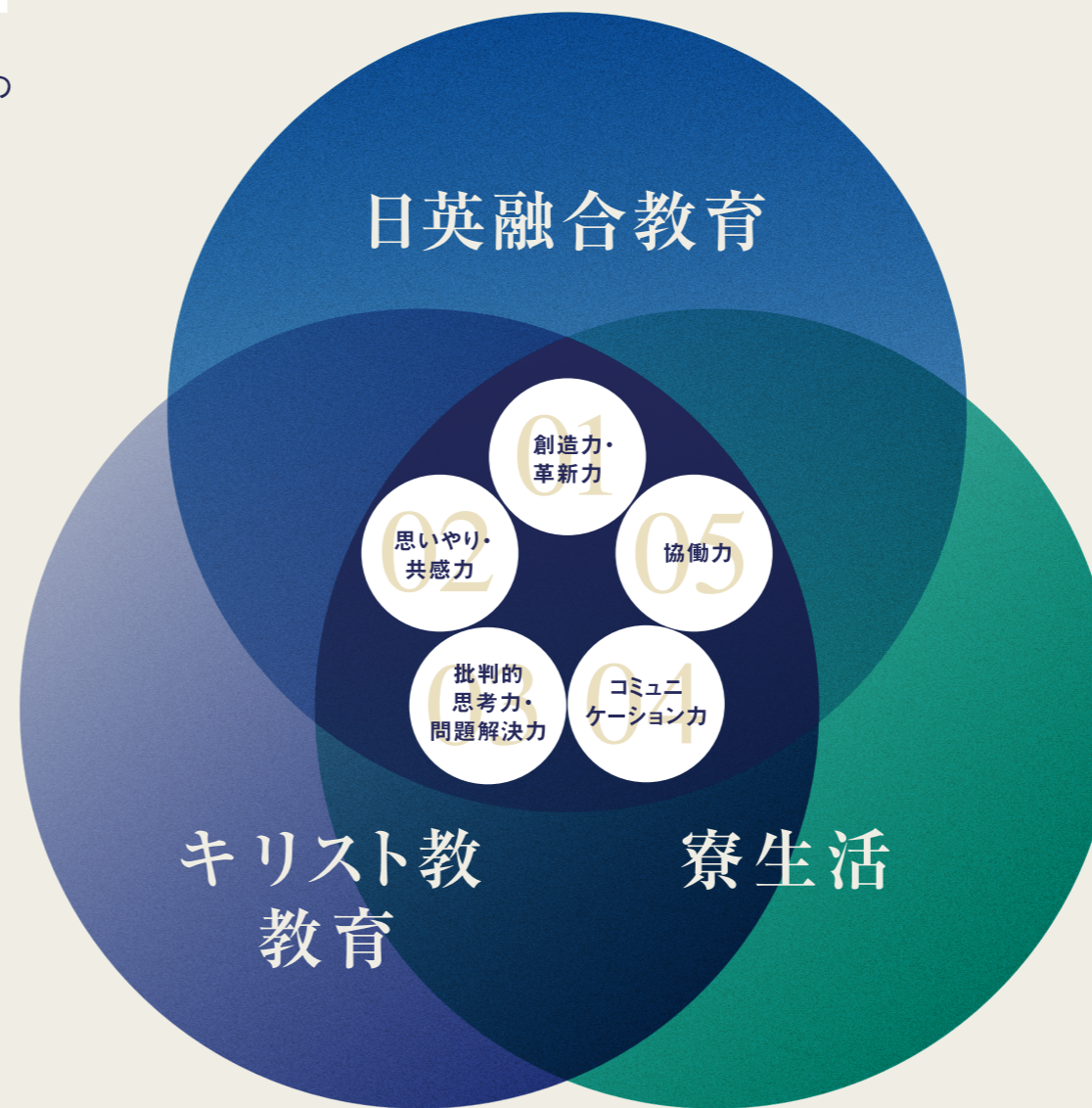
知識をただ詰め込むだけでは、これから生きていく力を得ることはできません。求められるのは、自ら学び続け、柔軟に対応できる力。そしてそれを育むための、学びの場です。

# 予測不可能な未来 を生き抜く力を育む 教育システム

現代社会を柔軟に生き抜くための  
5つの力を身につけるべく、  
本学には複合的教育システムが  
あります。

### キリスト教教育

礼拝で始まり礼拝で終わる。本校での日々は、キリスト教の教えと深く関わりがあります。一人ひとりの生徒は、神さまから愛されているかけがえない存在であり、一個の人格として尊重されなければなりません。そんなキリスト教の教えを日々の礼拝や暮らしの中から得ることで、互いを尊重し合いながら人格を形成していくことを目指しています。学校というひとつの社会の中で、他者への愛、共感性を育みます。



## 立教英国学院の3つの柱

### 日英融合教育

日本と英国、2つの言語と文化を組み合わせた独自の学びを提供しています。システムを統合することで、生徒たちは文化的理解、批判的思考、倫理的なリーダーシップを身につけ、グローバル社会で活躍できる人材へと成長します。また進学時には、日本の大学への進学のみならず、英国やさらに広く、世界の大学への進学の扉が開かれるなど、無限の可能性が広がっています。



### 寮生活

豊かな自然の中に建つ寮で、生徒たちは日々を過ごします。昨年より寮の改革に取り組み、生徒たちが最良の環境で過ごせるよう整備を行っています。子どもたちが安心して過ごせるように、大きな家族のような温かさ、安定した環境を大切にしたいと考えています。またそこでは、一生の友となる仲間と出会い、日常のコミュニケーションの中で人間性を高め合い、規則正しい生活の中で自立力を身につけます。



立教英国学院で  
身につく

現代社会を  
柔軟に生き抜く  
5つの力

01



創造力・革新力

新しいアイデアを生み出し、挑戦する力

02



思いやり・共感性

他者を理解し、支え合う力

03



批判的思考力・問題解決力

物事を多角的に考え、解決策を見出す力

04



コミュニケーション力

自分の考えを伝え、相手の意見を理解する力

05



協働力

仲間と協力し、共に学ぶ力

FOCUS!  
RIKKYO UK #02

SPECIAL INTERVIEW  
RIKKYO UK  
REAL  
TALK

立教英国学院の“リアル”を  
先輩・先生に聞く

本校での生活を通じ、どのような学びや経験ができるのか。またそれが卒業後どう役立つのか。入学前に気になる人も多いことでしょう。そんな気になるトピックを、卒業生と現役教員の方々にインタビュー。学校生活を経験した人や、日頃から生徒と接している人だからこそ見えてくる、リアルな立教英国学院をご紹介します。

GRADUATES



河合 航汰さん  
慶應義塾大学 4年  
(2022年3月卒)



バーランド 健 ジョンさん  
University of Warwick 3年  
(2023年3月卒)

TEACHERS



Ms. Jennifer Foley  
副校長



Ms. Sharon Mairs  
英語科主任

教えて! 先輩

Q1

学校生活を送る上で、  
心がけたほうがいいことは?

A. 河合さん

**勉強だけでなく、思い出づくりも!**

中学・高校と限られた期間の中で、将来自分がなりたい理想に向けて勉強することも大切なことだと思います。でも、それと同じくらい勉強以外のことを楽しむのも大切だと僕は思います。全寮制という特別な環境だからこそ、他ではできないいろんな経験ができます。例えば、仲間と過ごす寮での時間や、校外へ出る課外学習などの楽しいイベントなど全てがここにしかない経験だったと思います。時には楽しいだけでなく大変なこともあるかもしれないけれど、「怒られるかもしれない、失敗するかもしれない」という恐れは捨て、日々一生懸命100%の力を出し切って暮らしてほしいです。

A. バーランドさん

**深い人間関係を築ける、一生の友達を作ること**

同じ空間で生活も勉強もすべて共にする経験は、なかなか日本の中高生ではできないと思います。若いうちに深い人間関係を築くのは、後々の人生で大事なことがあると僕は卒業した今感じています。卒業から数年経ちますが、やっぱり今でも一番連絡を取り合う、仲の良い友達は立教英国学院で出会った仲間、一緒にいると心から楽しいと思えます。彼らと話している時が一番自分らしく、リラックスできます。そういう深い人間関係が築けていると、社会に出た時や人生の節目でも自分を支えてくれるんだと思います。



教えて! 先生

Q3

英国で教育を受けることの  
メリットとは?

A. Ms. Foley

**多様な学びと文化体験から  
国際人へ**

本校で提供されるものの多くは、他校では提供されないものだと考えています。学校環境としては、生徒が安全で安心して暮らせる田舎にありながら、学校行事などで定期的にロンドンや郊外のコミュニティに出かけることで、英語のスキルを磨くことに加え、より豊かな文化的視野を持つことができます。そのような機会をたくさん与え、私たちは将来グローバルな世界に羽ばたいていける生徒を育てることができると思います。



A. Ms. Mairs

**複数の文化での暮らしを  
経験できる**

ハーファームや夏休みといった休暇があることも、グローバル感覚を育むひとつの理由だと私は感じています。例えば、生徒たちは休み期間中に日本や、そのほかにヨーロッパ、シンガポールなどの世界各地の両親や家族のいる場所へ帰ります。その文化で過ごす時間や、また帰国して始まる英国での生活という多様な文化の中で暮らす貴重な体験ができるのです。そのコントラストは素晴らしいものです。この経験はきっと将来役に立つはずですよ。



教えて! 先輩

Q2

立教英国学院は、あなたにとってどんな存在ですか?

A. 河合さん

**いつでも帰ってこれる  
温かい場所**

僕はこれまで16年間海外生活を送ってきて、いろんな国や学校での学びを経験して、最終的に立教英国学院に落ち着きました。ここでの5年間は自分の人生の中でも一番長い期間で、とても濃い時間を過ごしました。だから、今でも大学生生活などで立ち止まったりした時には、慣れ親しんだこの場所が恋しくなります。帰ってくると温かく迎えてもらえるし、昔の自分はどうだったかな、こういう思い出があったなと思い返して、身も心もリフレッシュできる。そうやってリセットできると、また大学生生活や日々の生活を頑張っていこうと思えるんです。



GRADUATES & TEACHERS

教えて! 先生

Q4

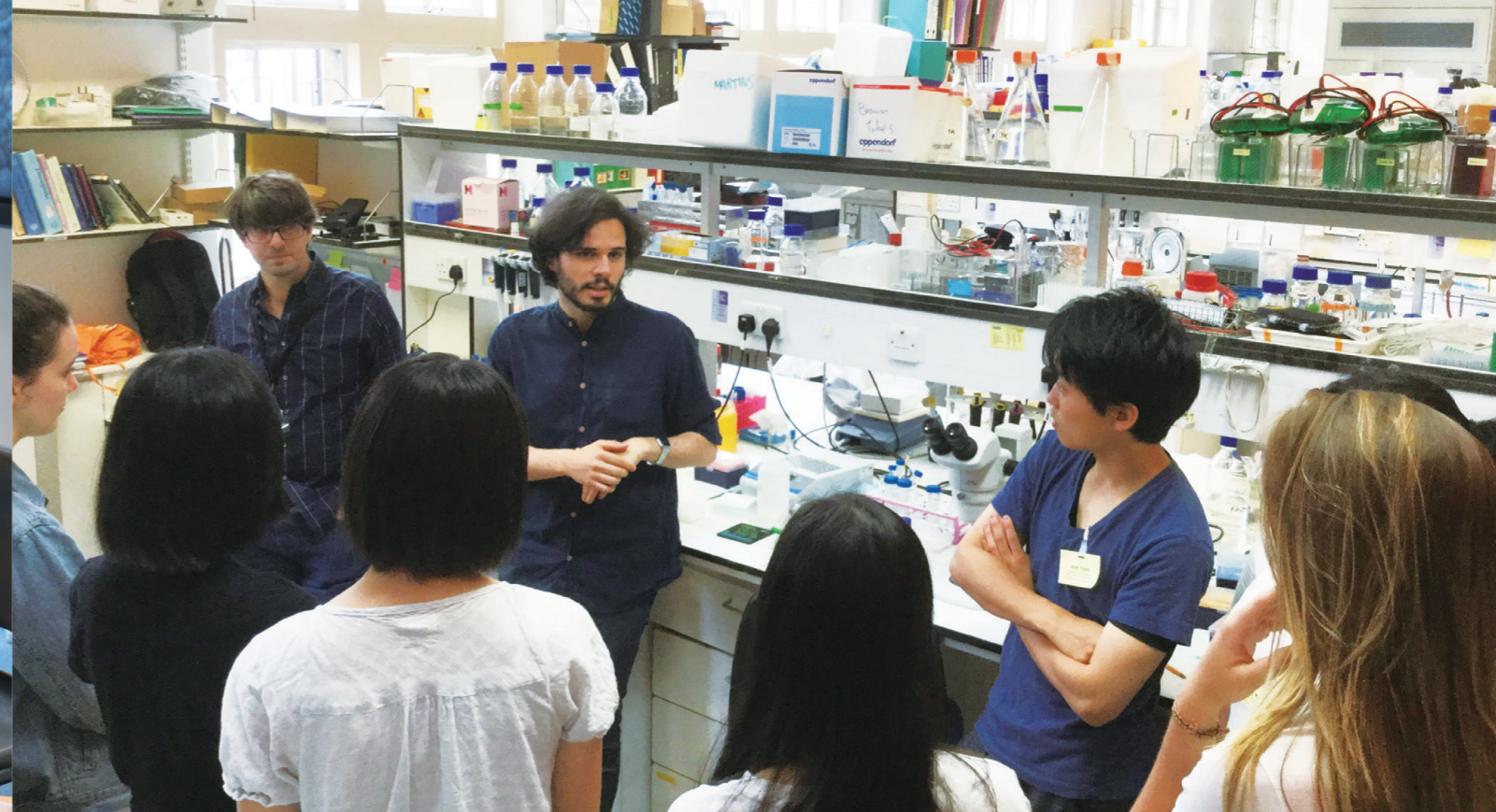
英国での学びは、将来どんな場面で  
役立つのですか?

A. Ms. Mairs

**自己効力感は  
大学や職場でも生涯通用するはず**

日本のカリキュラムに沿った高度な教育を受けるだけでなく、西洋式の教育法に沿った教育も受けられるという、本当に素晴らしい環境がここにはあります。生徒たちはその恩恵を受けて、学ぶことができるのです。これらを通して、私たちは好奇心と自己効力感を育てています。立教英国学院の生徒たちは、今だけでなく、将来の努力、つまり生涯学習のためのスキルを身につけ、学んでいるのです。大学であれ、職場であれ、若者が将来何をやるにしても、それを実現できるようにすることが重要です。そして教育的、言語的、文化的にこれらの可能性を提供することで、彼らを素晴らしい未来へと羽ばたかせることができると信じています。





# 01 | 日英融合教育

本校では、日本と英国、2つの言語と文化を組み合わせた独自の学びを提供しています。これらの学びを通して生徒たちは文化的理解、批判的思考、倫理的なリーダーシップを身につけ、グローバル社会で活躍できる人材へと成長します。

## 日本基準の学び

本校のカリキュラムは日本の文部科学省の学習指導要領をベースにしています。「日本と同じ教育」を英国の地で施すことで、将来日本の大学への進学を視野に、さらに英国や広く世界の大学への進学の扉が開かれるなど、選択の幅が広がります。



## 英語教育

英国にあるというアドバンテージを活かし、生きた英語を習得できるのも特長です。週4時間の英会話授業のほか、理科教育 (I.G.C.S.E.)、音楽教育など言語以外の分野から実践的に英語学習を行います。



## E.C. (English Communication)

英国人による週4時間の英語授業は能力に応じた少人数クラスに分かれています。ケンブリッジ英語検定カリキュラムに沿いながらも、新聞や雑誌を活用し、ディスカッションやスピーチ、プレゼンテーションを通して、本物の英語運用能力を磨きます。



## C.T. (Critical Thinking) / History / Literature / IELTS

高等部2年からは英国人によるCritical Thinking (必修科目)、History・Literature (選択科目)の授業が始まり、さらに高等部3年になるとIELTSやDiscussionの授業を週に4時間選択できるようになります。



## 内容言語統合型学習

CLIL (Content and Language Integrated Learning)

英語を通して専門領域の学習を行うCLILを導入しています。生徒たちは英語を学びながら他教科の知識も習得でき、論理的思考力や明確に自己表現する力も養われます。

## プログラムの目標

- ✓ 英語の読解力と表現力の向上
- ✓ イギリスの文化と社会への理解を深めること
- ✓ 正確で自然な英語を使うための語彙や文法の習得
- ✓ 自信を持って意見を述べる力の育成



## 現地大学・学外団体との提携

「真の国際人」の育成を目指す本校では、その教育環境を活かし現地の大学と提携しています。希望者は英国大学や学外団体との連携によるプログラムに参加することも可能です。

### オックスフォード大学 研修プログラム

1学期ハーフターム (学期中休み) や夏期休暇を利用して、オックスフォード大学で英語を中心とした体験研修に参加することができます。



### Collyer's Collegeとの教育連携

連携を結ぶCollyer's Collegeへは年2回の短期留学制度があります。そのほかにもスポーツ活動、文化紹介を行うなどを学校間交流が活発です。



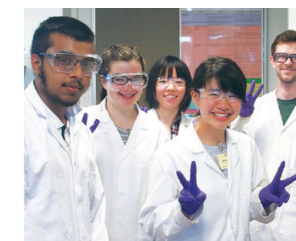
### ケンブリッジ大学、UCLと共催する大学での体験プログラム

夏期休暇の2週間、両大学で開催される日英の高校生が集うワークショップに参加し、プログラムやディスカッション、大学講義を体験できます。



### 日・英協働「Robotics」探究プログラム

世界を舞台に社会の問題解決のために英語とICTを用いて人材育成を目指したプログラム。パナソニック教育財団から助成を受けて実施しています。



## 英国だからこそ味わえる異文化体験

国際交流を目的とした英国社会との交流活動も盛んです。活動を通じて、英語力の向上を図ると共に、英国や世界を知り、「真の国際人」としての素養を高めます。

### 英国現地校への短期留学制度

夏期休暇や春期休暇の第1週に、英国現地校の授業や学生生活を経験する、短期の留学制度を用意しています。この1週間は英語学習意欲の向上にもつながります。



### 英国人家庭へのホームステイ制度

学期中休みや春夏休暇に、学校近隣の英国人家庭に1週間滞在する制度です。ホストファミリーとの生活を通して英国ならではの文化に触れることができます。



### その他の国際交流活動

年間を通してさまざまな国際交流活動を開催しています。近隣の学校の生徒との交流や地元の方々を招いたイベント、校外学習などを通じて英語による交流を促進しています。





## 02 | キリスト教に基づく全人教育

本校は、英国教会の流れを汲む「聖公会」の関係学校です。キリスト教の教えを根幹として、日々の学校生活においてその実践を目指しています。聖書・伝統・理性を道標としながら、真理を求めて旅をし続ける。教養教育や探究学習などを大切にするのは、この考えに基づいています。

### 礼拝で始まり 礼拝に終わる

生徒たちの生活の中で、礼拝はとても身近にあります。入学始業礼拝で始まり卒業終業礼拝で終わる一年。また日曜礼拝や朝の礼拝、食前の祈りなどさまざまな場面で礼拝を行います。他者に耳を傾け、祈ること。皆の前で朗読するといった多様な役を担うことが、成長の糧になっていきます。



### 英国の伝統に触れる 教会外出

日曜日には、学校での礼拝の代わりに地域の教会で礼拝に参加することもできます。チチェスターなどの大聖堂での礼拝に参加し、校外の方と交わりをもったり、生きた伝統に触れたり、英国の人々のキリスト教信仰を身近に感じることができます。



### 社会の基礎を理解する 聖書科

宗教は他者に対する偏見、憎悪を煽ることにしばしば利用されてしまいます。それらを防ぐために、英国ではRE (Religious Education) と呼ばれる宗教教育が必修科目となっています。諸宗教について理解することは、市民社会形成の基礎。本校では宗教教育を「聖書科」という名の授業で行っています。



#### チャプレンからのメッセージ

司祭パウロ眞野玄範



神さまにとってあなたはかけがえない存在である、他の人も皆同じ大切な存在である。あなたは神さまから「いのち」という賜物を受け、この世界の管理を委ねられている。こんな風に聖書では語られています。私たちは、生徒たちが生活と学びを通してこのメッセージを受け止めながら育てばいいと思っています。子どもは、自分が愛されていることをまず親の愛情から学びます。大切にされる経験があってこそ、他の人も大切にされている存在であることを理解することができます。そして具体的な人間関係の中で神の愛を知るものとなっていくことが、キリスト教の精神に立つ教育なのです。

## 03 | 生徒にとってのもうひとつの家を目指して

本校の特長である寮生活は、生徒たちが共同で生活をしながら互いを支え合い、高め合える魅力があります。規則正しい生活を通して、世界で通用するマナーや他者を思いやる心、多角的な視点を身につけていきます。

### スタッフ体制

寮生活を支えるのは、常駐する専門スタッフです。ハウスペアレンツが中心的役割を果たし、医療スタッフも常駐するなどケア体制は万全。医療整備も大幅に拡充され充実しています。

医療ケア体制の詳細はp16へ



### みんなの時間、 ひとりの時間

各寮には「コモンルーム」と呼ばれる共用スペースが設けられ、書籍やボードゲームなどの娯楽、キッチンなどがあり気軽に集まれます。一方、個別学習用の机もあるため、集団時間と個人時間どちらもバランスを保ちながら暮らせます。



#### ハウスキャプテン からのメッセージ

##### 男子寮 ハウスキャプテン

目標である、きれいで過ごしやすい寮を築いていくために、生徒自身が寮内を見回る企画を考案し、自分たちの生活の場を自ら整えることを実践しています。寮生活は人と深く関わり、自分自身と向き合うため、不安を感じることもあります。それは成長のチャンス。一歩ずつ前に進んでほしいです。



##### 女子寮 ハウスキャプテン

ハウスキャプテンとして、生徒たちの意見を先生方やハウスペアレンツに相談し、暮らしやすくする活動をしています。他学年の生徒たちが1つ屋根の下で生活するため、「快適の基準」をすり合わせることは大変です。けれど、誰も取り残さないことを目標に、一人ひとりに向き合っていきたいと思っています。



#### 寮監・パストラルケアからのメッセージ

Mrs. Jennifer Overton



本校では、2025年度より寮の全面的な改修と制度改革を行いました。イギリスの伝統にない「家庭のような安心感」「強い帰属意識」「生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す環境」を重視し、生徒たちが安心して学び・生活できるもうひとつの家を目指しています。また、寮ごとの所属意識を育てることも重視しています。生徒たちは入寮時に各寮に割り振られ、他学年混合で暮らします。毎週土曜日には寮全体での社交イベントが開催され、これらを通して団結力や健全な競争心、共同体意識を育みます。寮は単なる宿泊施設ではなく、学び・生活・心の成長が一体となった教育空間です。本校ではこれからも、生徒一人ひとりがのびのびと成長し、仲間と共に関わりのない時間を重ねていけるよう努めてまいります。

# CURRICULUM

日本の学習指導要領に加え、独自の授業で力を伸ばす

本校のカリキュラムは文部科学省の学習指導要領に基づいており、日本と同じ教育を英国の地で受けることができます。そこに、英会話や理科、芸術科目、Critical ThinkingやHistory・Literatureなど英国人教員による独自のカリキュラムが加わっていることが特長です。

**小学部** 各教科バランスよく学べるカリキュラム構成で、基礎力を身につけます。

5年	科目	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	英語音楽美術	English Communication	総合学習	特別活動	聖書	合計34単位
	時間	5	3	5	3	2	1	1	2	1+1	4	2	2	2	
6年	科目	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	英語音楽美術	English Communication	総合学習	特別活動	聖書	合計34単位
	時間	5	3	5	3	2	1	1	2	1+1	4	2	2	2	

**中学部** 中学部からは外国語の時間が増え、さらなる英語力の強化に。中学部3年からはI.G.C.S.E.コースも始まります。

1年	科目	国語	社会 (地理・歴史)	数学	理科1	理科2	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英人理科	英語	English Communication	特別活動	聖書	合計34単位
	時間	4	4	4	2	2	1	1	3	2	1	3	4	2	1	
2年	科目	国語	社会 (地理・歴史)	数学	理科1	理科2	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英人理科	英語	English Communication	特別活動	聖書	合計34単位
	時間	4	4	4	2	2	1	1	3	2	1	3	4	2	1	
3年	科目	国語	社会 (公民・歴史)	数学	理科1	理科2	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英人理科	英語	English Communication	特別活動	聖書	合計34単位
	時間	4	4	5	2/2	2/Bio3	1	1	3	1	1/0	3	4	2	1	

**高等部** 高等部2年からは日本人スタッフの授業も理系／文系に分かれます。

1年	科目	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	公共	数学I	数学A	I.G.C.S.E. Biology	英語	English Communication	聖書	芸術	家庭基礎(一部P.A.S.H.)	情報	理数探究基礎	体育(一部で保健)	合計34単位			
	時間	2	2	2	2	2	3	2	3	3	4	1	1	1	1	1	4				
2年	科目	文学国語	Critical Thinking	数学II	I.G.C.S.E. Biology	英語	English Communication	聖書	芸術	家庭基礎(一部P.A.S.H.)	情報	体育(一部で保健)	総合的な探究の時間	古典探究	世界史探究・日本史探究	Math II・B / History・Literature	数学II	数学B	化学	物理基礎 / 生物基礎	合計34単位
	時間	2	2	2	2/0	3	4	1	1	1	1	4	2	2	3/5	4	2	2	2/3	3/4	
3年	科目	英語	English Communication	Critical Thinking	総合的な探究の時間	聖書	体育(一部で保健)	論理国語	古典探究	世界史探究・日本史探究	Literature	History	数学III	数学C	化学	物理 / 生物	合計34単位				
	時間	3	4	2	2	1	4	4	3	5	2	2	5	2	5	6					

(数字は適当な時間の数)

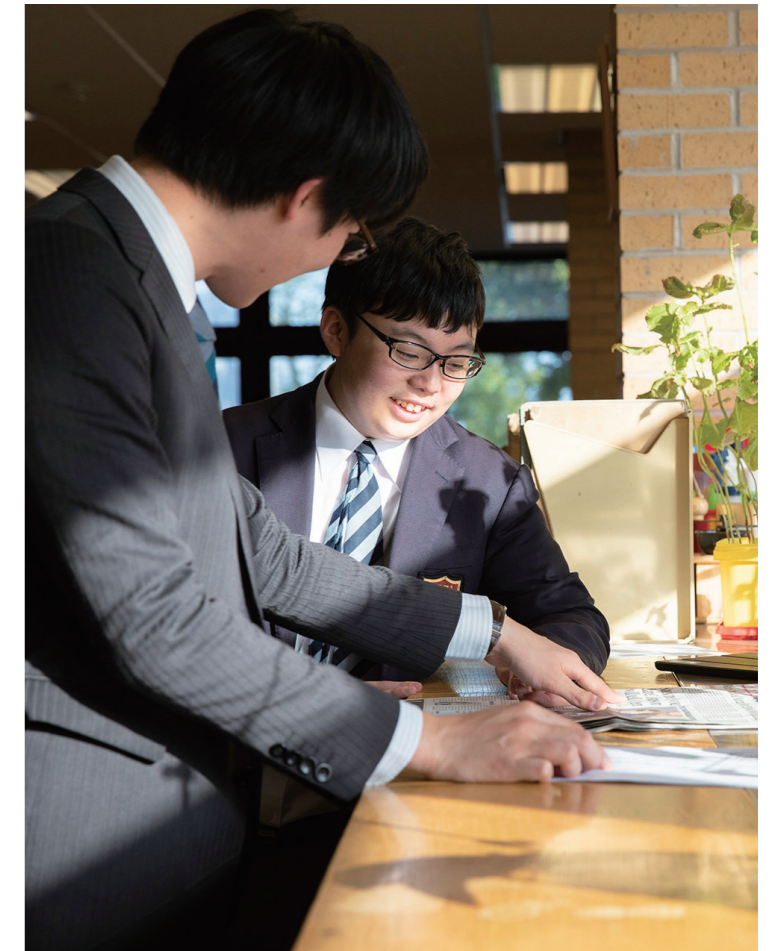
## 探究学習について

キリスト教精神をもち、イギリスにあるからこそできる探究学習を行うことができます。日英融合教育による学び、英国で味わう異文化体験、寮で感じる日英の生活の違いや大家族生活など、本校のすべての活動が探究学習につながります。

### 探究学習における目標「賜物に気づく」

賜物とは神様から与えられた特別なもの。個性や才能だけではなく、自分の興味関心も含まれます。自分のもつ賜物は他者のために用いることが望まれます。そのため自分の興味関心を見出し、それについて調べて深めるだけではなく、他者のために用いることができるように磨き、行動することでキリスト教精神に沿った探究学習を実現します。

小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 疑問をもつ <input checked="" type="checkbox"/> スライドを作成する	<input checked="" type="checkbox"/> 情報を集める <input checked="" type="checkbox"/> 発表する	など
中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 問いをたてる <input checked="" type="checkbox"/> 情報の取捨選択 <input checked="" type="checkbox"/> 新たな問いを生む	<input checked="" type="checkbox"/> データの分析 <input checked="" type="checkbox"/> 双方向の発表	など
高等部	<input checked="" type="checkbox"/> 専門性や新規性 <input checked="" type="checkbox"/> データや表の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 自己の確立	<input checked="" type="checkbox"/> 多角的な情報収集 <input checked="" type="checkbox"/> 論理的表現 <input checked="" type="checkbox"/> 社会貢献	など



### 英国でのあらゆる体験を探究学習につなげる

実践例 小学部 中学部

#### ロンドン自然史博物館 × 探究

小学部5年から中学部2年は、ロンドンの自然史博物館を見学し、自分の興味関心のあることを発見して調べ、発表する探究学習を行いました。探究テーマは「シロナガスクジラと人間の骨格の違い」や「カバの生態」などユニークなものも多数。調べた事柄について、誰よりも詳しくなったという自信を持つことができました。



実践例 高等部

#### 英国企業・議会訪問 × 探究

高等部2年は、より専門性をもった探究学習を行いました。政治経済の分野に関する探究活動では、「探究学習(投資)を通じて日本人の英語力を向上させる」という目標を立て、教育と翻訳AIの関連について考えました。英国と日本の教育の違いを知るために英国の地方議会を訪問したり、オンラインインタビューを実施。考えを深めることができました。



## Pick up!

### 理科学科目(I.G.C.S.E.) Biology

中学部3年から高等部2年にかけての2年間、I.G.C.S.E. (International General Certificate of Secondary Education) Biologyを設置し、全生徒が必修科目として学習しています。日英の理科教員によるチームティーチングを通して、アカデミックな英語力を磨くことができます。コース終了時には正式な試験を受験し、英国人と同じレベルで学力の判定がなされます。



# SCHOOL LIFE

学校生活を送る上で、生徒同士が絆を深める機会となる年間行事。生徒自らが運営するものや、地域に開かれたイベントなど、それらの経験を通して成長していきます。また、年3回行われるスクールアウトティング(遠足)など、校外へと飛び出して英国を感じるイベントも満載です。

4月 APRIL

- ・入学始業礼拝
- ・体育祭



入学始業礼拝



01

5月 MAY

- ・Japanese Evening
- ・スクールアウトティング(ロンドン遠足)



02



03

6月 JUNE

- ・ウィンブルドンテニス観戦



04



スクールコンサート

7月 JULY

- ・スクールコンサート

8月 AUGUST

9月 SEPTEMBER

- ・スクールアウトティング(遠足)
- ・オープンデイ(文化祭)



05



06

10月 OCTOBER

- ・スクールコンサート
- ・クリスマス行事
- ・キャロリング



07

11月 NOVEMBER

12月 DECEMBER

- ・スクールコンサート
- ・クリスマス行事
- ・キャロリング

1月 JANUARY

- ・スクールアウトティング(遠足)

2月 FEBRUARY

- ・生徒会総選挙

3月 MARCH

- ・卒業終業礼拝



08



卒業終業礼拝

01.

生徒同士の絆が深まる  
**体育祭**

全校生徒参加でバスケやサッカー、バレーなどの選択競技と学年種目に取り組みます。新学期最初のイベントとなるため、生徒同士また他学年の生徒とも仲を深めることができます。

02.

地域の方々へ日本文化を伝える  
**Japanese Evening**

校内に地元の学生の方々を招き、茶道、剣道、書道、盆踊り、折り紙といった日本ならではの文化を生徒自らが紹介。来校した方々との交流を通して英語力も磨かれます。

03.

イギリス文化に触れる校外学習  
**スクールアウトティング(ロンドン遠足)**

年3回あるアウトティングの内、1学期は英国の首都であるロンドンを訪れます。歴史的な名所や街を巡りながら、本物のイギリス文化に触れる貴重な機会に生徒たちも大興奮です。

04.

テニスの4大世界大会  
**ウィンブルドンテニス観戦**

毎年恒例の行事として世界的なテニスの大会である「ウィンブルドン選手権」の観戦も行っています。最高峰の選手たちのプレーを間近で観られる感動は一生の思い出になります。

05.

学都訪問で刺激を受ける  
**スクールアウトティング(遠足)**

小学部と中学部は英国南部の名所を訪問。高等部1、2年はケンブリッジやオックスフォードといった学都を訪れ、また、大学ツアーの参加や食を楽しむなど刺激が満載です。

06.

生徒自らが作り上げる  
**オープンデイ(文化祭)**

年に一度学校開放が行われる1日。クラスごとに展示を行い、生徒自らが企画、調査、設営まで担います。また、コンサートなど催し物も行われ、訪れた近隣の方々をもてなします。

07.

地域とのつながりを大切に  
**キャロリング**

学校近隣のコミュニティにて毎年開催されるクリスマス行事。全校生徒たちが日本語と英語の曲を合唱し、地域の方々とともにクリスマスをお祝い。夜は校内で礼拝も行います。

08.

白熱する選挙演説に  
**生徒会総選挙**

高等部と小中学部の生徒からなる生徒会。その選挙では立候補者らが、パワーポイントを使ったプレゼン形式の演説や芝居演説など工夫を凝らして全校生徒へアピールします。

# SCHOOL MAP

## ともに学び、高め合う豊かな環境。

生徒たちの学びと人格形成のために、本校では最高の環境を提供しています。緑豊かな丘の上に位置するキャンパスは、東京ドーム約23個分の広さ。築100年を超えるクラシックな建物から最新設備の管理棟、学生寮、そして整備されたスポーツ設備までさまざまな建物が点在しています。



## SCIENCE LABORATORY

[理科実験棟]

最新設備を活用して理科学習をより深く探究

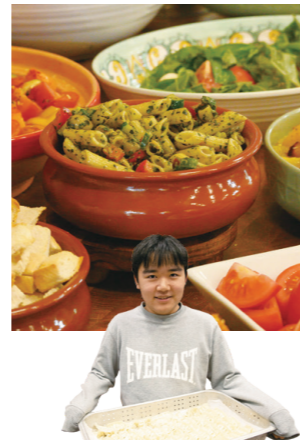
1995年に完成した理科実験棟は、最新設備を備えた施設です。中学部3年から高等部2年の生徒たちは、ここで探究実験を行うとともに、英語を使ってレポートをまとめるなど、科学的探究心と英語力どちらも育むことができます。



## LIBRARY [図書館]

新しい智との出会いを提供する、学びの場

本校の図書館は、明るく開放的な空間です。蔵書についてはこれまでのものに追加して、約2,500冊の新刊が加わるなど充実が進んでいます。夜遅くまで開館しているため、生徒たちはそこで読書や調べ学習などに各々取り組むことができます。



## DINING HALL

[食堂]

マナーを磨き交流を促す、全校生徒が集う食のひととき

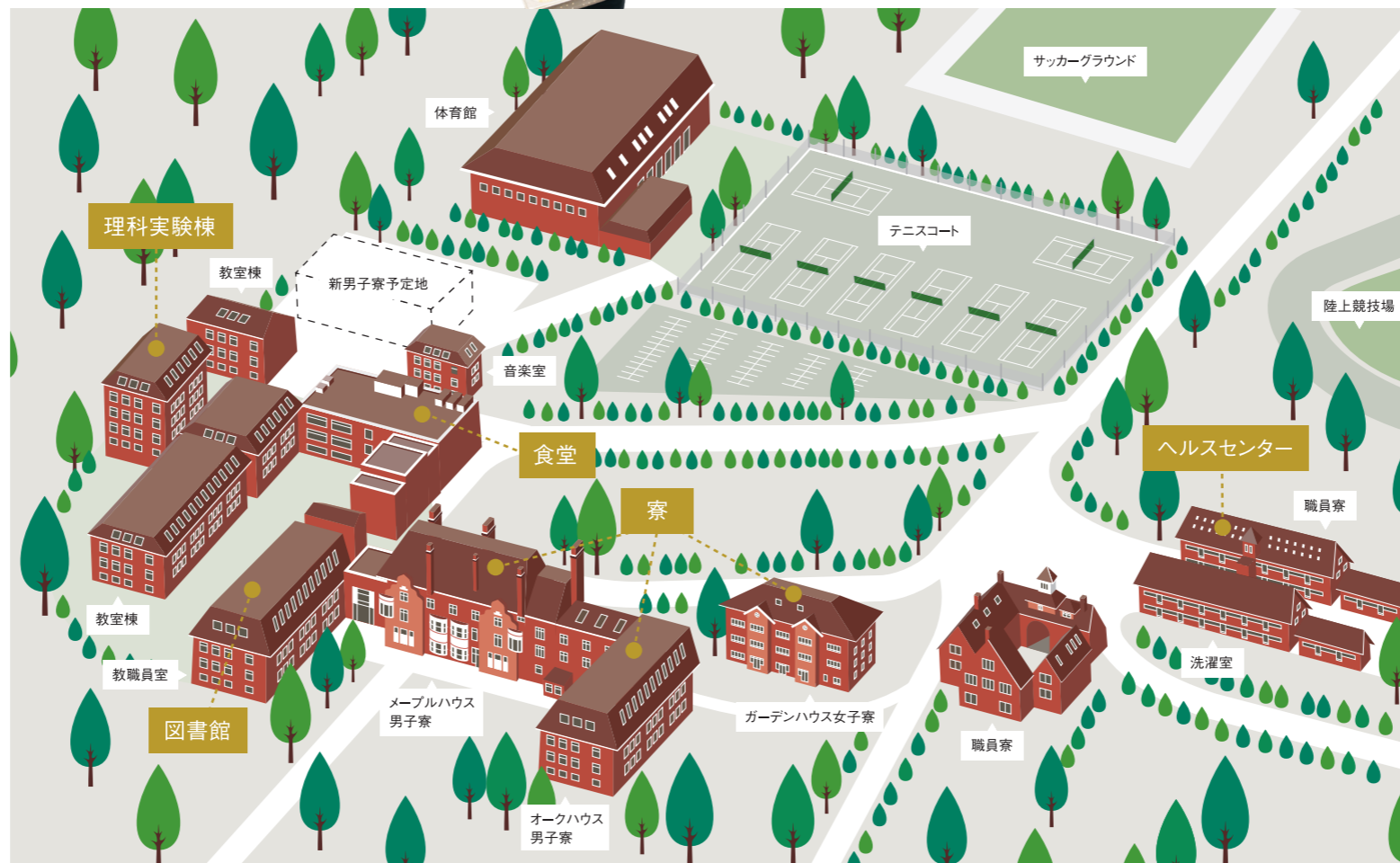
本校では毎日三度の食事が基幹をなすと考えています。生徒と教員が一同に集い食事をとする食堂は大切な交流の場。小学生から高校生まで混合となった座席に座り、テーブルマナーを身につけつつ、楽しい時間を過ごせます。また座席は定期的に変わるので全校生徒と交流ができることも魅力です。



## NATURE [自然]

豊かな自然の中で育む、情緒穏やかな人格

本校があるのは、「英国の庭」と呼ばれる南英の地域。辺り一帯はカントリーサイドで、牛や羊が草を食む牧草地が広がります。都会から来た生徒には珍しいキツネや鹿、ハリネズミなどの動物と出会う貴重な体験。そして四季折々の風景が生徒たちの情緒を安定させ、穏やかな人格を形成します。



## DORMITORY

[寮]

安心して暮らせる環境で思いやりと自立を促す

現在生徒たちが暮らす寮は3つ。それぞれ男子2棟、女子1棟に分かれています。1人部屋はなく、同室のルームメイトとともに協力し合いながら暮らし、お互いを思いやる気持ち、そして自分で考えて行動する自立心も身につけていきます。



## HEALTH CENTRE

[ヘルスセンター]

いざという時に安心の医療・看護体制

ヘルスセンター(保健室)には日本人看護教員と英国の看護資格を持つ4名の看護師が在籍しています。全生徒は英国健康保険に属し、現地の医療機関への受診が可能。また2週に一度、日本人カウンセラーのカウンセリングを提供するなど、生徒の心身のサポートに当たっています。

## 2026年に新寮増設! 今後もさらに充実の設備に

男子の新寮は2棟2階建て建物。それぞれの棟に30名ずつ、計60名の男子生徒を収容する予定です。生徒たちの部屋は4人部屋が基本で、建物内にはハウスペアレントの居住するスペースや共有スペースとなるコモンルームが完備されています。太陽光パネル、ヒートポンプ、床暖房などの設備があり、環境にも配慮された優しい構造になっています。



# ONE DAY of RIKKYO UK

自立心を育むには、規則正しい生活を送ることは何よりも大切。そのため本校では、起床から就寝まで決められたスケジュールに沿って生活を行います。生活リズムの基礎が整った上で、勉強やプライベートを両立することで、さらに充実した学校生活を楽しむことができます。1日のスケジュールやその様子を学年別にご紹介します。

## 立教英国学院 生徒の1日

### 小学部



PRIMARY SCHOOL

小学部

集団生活なので気を遣うことや小さなトラブルはありますが、めげない力が身につきます。また自分で何をすべきか考えて行動することを生活の中で学びます。



#### Pick up!

礼拝で始まる朝  
毎日自分を見つめ直す

礼拝はチャペルで行い、全校生徒で賛美を捧げ祈ります。チャプレンのお話を聞き、黙祷のときには、自分自身を見つめ直します。毎日行うことで新たな気持ちで、学校生活を送ることができます。



午前授業は4コマ。先生との英語の会話を楽しみながら学べます。



自由時間はギターを弾いたり、外で鬼ごっこやサッカーをします。



毎週火、木、土曜は日本食が出ます。とても美味しいので楽しみです。

#### Pick up!

離れて暮らす親と  
毎日連絡を取れる安心

休み時間や自由時間にタブレット端末でテレビ電話やメールができます。離れて暮らす家族へ、時間を見つけて近況報告をするなど連絡を取れます。



### 中学部



MIDDLE SCHOOL

中学部

小さい頃から続けているピアノを放課後の時間を使って練習するなど、趣味の時間もあるのが魅力。英語のプライベートレッスンも週に1回受けています。



朝食はbuffet形式。イギリスの伝統的な料理がたくさん並びます。



授業は落ち着いた雰囲気の中で。授業の合間には短いブレイクがあり、集中力が保てます。

#### Pick up!

全校生徒で食べる  
楽しい会話の時間

本校では、テーブルマナーを守って食事をします。同じテーブルの先輩や先生と一緒に食べながらいろいろな話ができることも魅力。定期的に席替えもします。



放課後はピアノ練習。イベント前は毎日練習に励みます。



夜は自習の時間。集中して勉強できるよう、工夫しながら取り組んでいます。

### 高等部



HIGH SCHOOL

高等部

生活の中で意識しているのは感謝とプリンシパル。他学年との交流を通じ、人の気持ちを考えることやマナーを身につけ、コミュニケーション能力が高まります。



起床は高等部2年の当直が鐘を鳴らしながら各ドミトリーを回ります。



学べることはすべて吸収しようという思いで、授業に臨んでいます。



ホームルームは、先生方の話や連絡事項などを聞く時間です。



部活動はこの時間に行われます。私は2つの部活を兼部しています。

#### Pick up!

やりたいことを見つけ  
学生生活を充実させる

部活や自習、語学などのプライベートレッスンを受けたりと思いに過ごします。私の場合は、部活動がない日は生徒会活動に取り組みます。勉強だけでなく、打ち込めることがあると充実します。



# 進路について

## 大学への進学例



[立教英国学院 2025年卒]  
立教大学 法学部 国際ビジネス法学科  
グローバルコース 進学

### 将来の夢への道筋を考え 立教大学推薦を選択

将来はグローバル企業に勤め、日本と海外をつなぐ懸け橋になりたいと考えているため、ビジネスの礎となる契約や法律を英語で学べる国際ビジネス法学科を選びました。推薦入試では高2の時のUCL Japan Youth Challenge参加を通じて得た経験などをアピール。高3の10月には合否が出るため、4月の入学までに語学留学やイギリスのさまざまな地域、ヨーロッパへの観光など自分のしたいことを存分にすることができました。



[立教英国学院 2025年卒]  
立教大学 法学部  
政治学科 進学

### 受験勉強に費やす時間を 大きな人生経験に充てる

教員免許の取得が可能であるという点と就職活動などにおいても利点を感じて法学部を選びました。進路決定にあたり先輩方からたくさんのアドバイスをいただきました。それも寮生活の中で関係値があり、気軽に話を聞くことができただけだと思います。入試では陸上大会やボランティアなど学外での活動をアピール。本来勉強に費やすはずであった時間を、このような人生経験にかえられたことは、推薦入学ならではの強みであると思います。



[立教英国学院 2025年卒]  
早稲田大学 国際教養学部  
国際教養学科 進学

### 受験を通して自分の将来を 深く考えるきっかけに

小さい頃から難民・移民問題に関心があり、日本の大学で日本からの視点で勉強したいと考え早稲田大学を受験しました。受験に向けてはSAT\*1とIELTSの試験勉強に取り組み、夏休みに英国のシンクタンクのサマープログラムなどに参加しました。またCollyer's Collegeへの短期留学や近隣校とのチャリティー活動などをPersonal Statement\*2でアピール。受験を通して将来のキャリア観が見えてきたのは良い点です。



[立教英国学院 2024年卒]  
国際教養大学 国際教養学部  
国際教養学科 進学

### 英国にいながらにして 日本の塾などで入試対策

受験の時点で自分の興味や関心のある分野が絞り切れていなかったため、大学ではまず広く学びたいと考えて進学先を選ばず、志望校は心から行きたいと思える2校に絞りました。受験対策として主に塾への通学や講習、過去問や英検、IELTSの問題を解くなどに取り組みました。書類作成と面接対策は、学期中に塾の授業をオンラインで受講。日本とイギリスでは時差が大きいため、制約がありましたが、学校には柔軟な対応をしていただきました。



[立教英国学院 2025年卒]  
University College London  
Social Sciences BSc 進学

### 立教英国在学中の活動で 海外大学志望をアピール

自分が持つすべての能力を最大限に発揮できる環境はどこなのかを考え、海外を選択しました。欧米・欧州の大学受験は基本的に高校時の成績と志望理由書で審査されるため、志望理由書をいかに魅力的に見せるか、他の受験者と自分を差別化することを意識しました。従って僕は課外活動にも注力しました。また、プライベートレッスンの制度を利用して、ネイティブの先生方に志望理由書の作成の手伝いもサポートしてもらいました。



[立教英国学院 2025年卒]  
University of the Arts London  
Foundation Diploma  
in Art and Design 進学

### 憧れの美術系大学進学へ 先生の手厚いサポート

美術系への進学ということから、受験で一番ネックだったのはポートフォリオ制作です。立教英国学院の美術の先生に相談をして、Personal Statement\*2の添削とアドバイスを、ポートフォリオに載せる作品の写真撮影、他にも美術室や画材の貸し出しまで、何から何まで手厚いサポートをしていただきました。先生のサポートが無ければ私の進学は実現しなかったと思います。

立教英国学院を羽ばたいた後には、さまざまな進路が待っています。日本に帰国して立教大学や他大学へ進学することや、英国をはじめ海外の大学で学ぶことも可能です。それぞれの進路の利点や入試の流れについて、6名の卒業生の事例から少し先の未来を想像してみてください。

## 大学合格状況

### 2025年(卒業生数51名)

国立	私立
横浜国立大学 1名	立教大学 38名
	早稲田大学 2名
	東京理科大学 2名
	国際基督教大学(ICU) 1名
	上智大学 1名
	明治大学 1名
	芝浦工業大学 1名
	東京電機大学 1名
	東京都市大学 1名
	国士舘大学 1名
	洗足学園音楽大学 1名
	鶴見大学(歯学部) 1名

イギリス
University College London 2名
King's College London 2名
SOAS University of London 1名
University of Manchester 1名
University of Birmingham 1名
University of St Andrew's 1名
University of Bristol 1名
University of Brighton 1名
University of Sheffield 1名
University for Creative Art 1名
University of the Arts London 1名

### 2024年(卒業生数44名)

国公立	私立
北海道大学 1名	立教大学 26名
国際教養大学 1名	国際基督教大学(ICU) 1名
	明治大学 1名
	聖心女子大学 1名
	関西学院大学 1名
	立命館アジア太平洋大学 1名

イギリス
King's College London 1名
University of Edinburgh 1名
University of Manchester 1名
Queen Mary University of London 1名
University of Southampton 1名
University of Brighton 1名
University for the Creative Arts 1名
Nottingham Trent University 1名
University of the Arts London 1名
Ravensbourne University London 1名

アメリカ
University of North Alabama 1名

## 大学との進学連携

### 立教大学への推薦制度

本校高等部と立教大学で定めた推薦条件を満たした生徒は、人数の制限なく推薦が認められています。本校で得た英語力、国際感覚、キリスト教精神を研究の素地としながら活躍しています。



### 国際基督教大学(ICU) との連携

国際基督教大学(ICU)は本校と同じくキリスト教・国際教育に基いた大学であり、指定校推薦枠があるなど連携しています。

### 「UCLロンドン大学CLIE」 「サリー大学」との進学協定

本校在学中に一定以上の成績を修め規定の英語資格を取得した生徒は、それぞれの大学の学士入学準備コースに進学できます。(※一部試験あり)

## 指定校推薦枠一覧

立教大学	上限なし	早稲田大学	1名
関西学院大学	4名	聖路加国際大学	1名
芝浦工業大学	4名	国際基督教大学(ICU)	1名
同志社大学	2名	南山大学	1名
立命館アジア太平洋大学	1名	学習院大学	1名
千葉工業大学	2名	立命館大学	1名
聖心女子大学	2名	武蔵野大学	1名
東京理科大学	2名		

\*1 SAT (School Assessment Test): アメリカの非営利団体College Boardが運営するアメリカの共通テスト \*2 Personal Statement: 小論文形式の入学志望動機書。英語で書くことが求められます。

# 入試日程・学費・学校見学・説明会について

## 2026年度 入試日程

### [中学部][高等部] 入学試験

#### 中学部 A日程 | 12月実施 [学科試験型・自己推薦型]

試験日: [日本受験] 2025/12/14(日)  
出願期間: 2025/11/6(木)から2025/11/27(木)まで  
募集人数: 第1学年 約10名  
選考方法: 国語・算数の学科試験および  
保護者同伴によるオンライン面接  
※自己推薦型はオンライン面接のみ

#### 中学部 B日程 | 2月実施 [学科試験型]

試験日: [日本受験] 2026/2/15(日)  
出願期間: 2026/1/22(木)から2026/2/5(木)まで  
募集人数: 第1学年 若干名  
選考方法: 国語・算数の学科試験および  
保護者同伴によるオンライン面接

#### 高等部 A日程 | 12月実施 [学科試験型・自己推薦型]

試験日: [日本受験] 2025/12/14(日)  
[英国受験] 2025/12/14(日)  
出願期間: 2025/11/6(木)から2025/11/27(木)まで  
募集人数: 第1学年 若干名  
選考方法: 国語・数学・英語の学科試験および  
本人のオンライン面接  
※自己推薦型はオンライン面接のみ

#### 高等部 B日程 | 2月実施 [学科試験型]

試験日: [日本受験] 2026/2/15(日)  
出願期間: 2026/1/22(木)から2026/2/5(木)まで  
募集人数: 第1学年 若干名  
選考方法: 国語・数学・英語の学科試験および  
本人のオンライン面接

#### 高等部 在外日本人学校 在籍者枠 単願推薦入試 [オンライン面接]

面接日: 2025/12/8(月)～2025/12/13(土)の間に  
リモートで行います  
出願期間: 2025/11/6(木)から2025/11/27(木)まで  
募集人数: 第1学年 若干名

#### 高等部 海外在住現地校 在籍者枠 特別入試 [オンライン面接]

面接日: 2025/12/8(月)～2025/12/13(土)の間に  
リモートで行います  
出願期間: 2025/11/6(木)から2025/11/27(木)まで  
募集人数: 第1学年 若干名



### [小学部][中学部][高等部] 編入学試験

編入情報については本校HPで随時情報を更新しております。



## 学費(2025年度)

[入学金] 3,780ポンド(入学手続時) [施設維持費] 1,890ポンド(年額) ※毎年度始めに一括納入

[学費(授業料+寮費)] 小学部:31,320ポンド(年額) / 中学部:34,200ポンド(年額) / 高等部:36,000ポンド(年額)

※全て付加価値税VAT20%込み ※英国では2025年1月より私立学校の学費にVAT(付加価値税)が導入されることとなり、立教英国学院では現在の為替状況等を考慮し学費を減額してVAT対策を行っています。

#### ■学費に含まれるもの:

- ・寮費、洗濯代等(部屋の掃除・洗濯は英国人スタッフがいたします)
- ・食費(1日3食+午前・午後・夜のお茶の時間の飲物とお菓子、果物等)

#### ■学費に含まれないもの:

- ・生徒の小遣い ・放課後等に実施される音楽・語学のレッスン(希望者のみ)
- ・フライデースポーツ含む各種課外活動に係る費用(コーチ費用、入場料、交通費、食費等)
- ・業者テスト及び各種資格試験(IELTS, Cambridge英検、漢検など)
- ・教材(高等部教科書、副教科書、問題集、ドリル、補助教材等) ・交通費

### 学校見学・オンライン個別相談

立教英国学院では、随時、学校見学に対応しております。学校見学をご希望の方はHPのお問い合わせフォームよりご連絡ください。またHPにオンライン学校紹介/キャンパスツアーを掲載中。オンライン個別相談も受け付けておりますのでお問い合わせください。

#### 学校見学



#### オンライン個別相談



### 学校説明会

随時開催中!

詳しくは公式HPをご覧ください



## Message

### 理事長 ごあいさつ

日本から遠く離れた「異国の地」でしっかりと勉学を修めたい。本校には、そんな思いの生徒たちが毎年入学して参ります。ここでの生活は日本とは全く異なるように見えますが、人間の営みに変わりはありません。そのことに10代にして気づけるかどうかは、その先の人生において大きなポイントとなります。自分にきびしく、相手にやさしく、すなおでこい自己を確立するため、学び訓練する。(司馬遼太郎「21世紀に生きる君たちへ」より抜粋)

立教英国学院は生徒たちのそんな学びを支えたいという信念のもと歩んできました。自然豊かなキャンパスの中で学び、人間の根源的な営みについて、共に探していきたいと思います。芽生え始めた若葉のような皆さんにキャンパスで会えることを楽しみにしております。

理事長 杉山 順一



### 校長 ごあいさつ

本校がここ南英サセックス、バリングスハーストの丘にその礎を定めて、半世紀が過ぎました。本校創設者初代校長藤原先生は、日英の懸け橋として本校が果たす役割を明確に提示し、広く世界のために尽くすことのできる生徒の育成を本校の目標としました。

2025年4月より、本校は寮体制の見直し、英語教育の改革、探究プログラムの開始など、未来思考の学校教育を目指しています。寮の改革では、英国のハウス制に基づいた、より家族的で温かな寮制度への改革を推進。新しい男子寮の建設にも着手いたしました。英語教育では、英語を日本語と並ぶ主要言語の一つとして捉え、とりわけ「話す力」と「書く力」の向上に重点を置いています。また今年度より、本校独自の探究学習プログラムを本格的に実施。英国にあるという地の利を活かし、「Rikkyo Project Qualification (RPQ)」、「英国文化探究」、「国語探究」、「数学探究」、「金融経済探究」など幅広い内容になっています。近隣の学校、地域社会との結び付きをさらに発展させ、世界のために働くことのできる生徒の育成が私の願いです。

校長 岡野 透



## History

1972 開校(小学部19名でスタート)

1973 中学部開校

1975 文部省より在外教育施設に指定される

1976 高等部開校

1977 英国教育科学省よりIndependent Schoolとして認可

1978 高等部も在外教育施設として指定される 新寄宿寮、チャペル落成

1986 新チャペル、新教室棟落成 ウェストハウスを女子寮として使用開始

1992 文部省より在外教育施設として認定を受ける

1993 体育館/教員室・図書館棟/新教室棟落成

2002 創立30周年

2012 創立40周年

2014 男子寮を改築

2015 女子寮落成

2022 創立50周年

2026 新男子寮落成(予定)

本校に関する  
ご質問など  
Q&Aを  
ご覧ください

